



《 北米産大豆 》

11 / 12年世界大豆生産予測、下方修正

米農務省がこのほど発表した、11 / 12年度の世界の大豆生産高予測は、前回比1.5%減の2億5,747万トンに下方修正されました。ブラジルなどが前回より増加したものの、米国、中国の減少が上回ったためです。

特に米国では、作付時期の長雨によって、作付作業が例年よりも大幅に遅延した地域があることや、夏の干ばつの影響が出ていることが挙げられます。

カナダ統計局は8 / 24に今シーズンのカナダ産大豆の生産量予測を発表し、前年比1.1%減の390万トンの見込みとなりました。これは、主要産地であるオンタリオ州とケベック州で高温乾燥天候による単収減を懸念してのことです。

大豆相場は上昇傾向

今後のシカゴ相場については、米国やカナダ、中国などで干ばつ気味となっていることなどから、基本的には上げ基調で、9 / 8現在、期近で14ドル11セントまで上昇しております。今後も、天候相場で、一進一退が続くものと思われる。

《 大豆生育状況 》

23年産山形あやこがね

弊社の契約栽培先である山形県の庄内みどり農協（広野地区）のあやこがねの様子です。6月下旬の集中豪雨の影響で、例年よりも生育量が少ない状況です。しかしながら、開花は、平年並みの8月8日に確認されました。今後の天候が気になります。

（8 / 上旬）



（開花）



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1 - 4 - 7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



《 国産大豆 》

22年産8月の落札状況

平成22年産国産大豆の8月の入札結果が、日本特産農産物協会から発表されました。それによると、上場数2,530.1トンで、落札が1,102.3トン、落札率が43.6%という結果となりました。先月同様に21年産と比較すると落札率、平均落札価格ともに上昇しました。

(前年8月の落札率は14.9%、前年8月の平均落札価格より60kg/511円高値)

また、7月と比較すると、落札率は、10.4ポイント上昇し、平均価格は、60kg/59円高くなりました。山形中粒エンレイ、新潟中粒エンレイの他、栃木、愛知、滋賀、佐賀、長崎、熊本、大分の大豆は、上場分全量落札されております。

今年の入札は、9月までです。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
12月	1,281.8 t	148.5 t	11.6%
1月	2,762.9 t	761.4 t	27.6%
2月	9,444.4 t	2,237.7 t	23.7%
3月	5,615.5 t	1,714.7 t	30.5%
4月	14,429.3 t	5,594.9 t	38.8%
5月	7,505.7 t	2,418.7 t	32.2%
6月	12,296.7 t	4,067.5 t	33.1%
7月	7,683.6 t	2,548.5 t	33.2%
8月	2,530.1 t	1,102.3 t	43.6%
累計	63,550 t	20,594.2 t	32.4%

23年産作付、集荷見込み

農水省は、国産大豆に関する情報交換会を開催しました。その中で、全農及び全集連から23年産大豆の作付面積と集荷見込みが報告されました。それによると、作付面積は、前年比1%減少の11万1,422ha(全農10万9,017ha、全集連2,405ha)となり、集荷見込みは、前年比13%増加し、19万8,724トン(全農19万2,800トン、全集連5,924トン)となりました。作付面積は、新規需要米への作付転換や、津波の被害の為、減少しました。集荷見込みについては、平年並みの作柄が確保された場合の数値となっています。(22年産は、高温障害による単収の悪化がみられた)今後の台風、天候不順の影響が懸念されます。

また、主要品種別にみると、前年比で作付が減少したものは、ミヤギシロメ(88%)、タンレイ(91%)、タチナガハ(94%)、リュウホウ(95%)、エンレイ(96%)となっております。逆に、北海道のとよまさりは、前年比7%増加となっております。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>